

# あかも!

マサルとかき氷 食べに行くんだけど この辺だとどこ? 喉カラカラ...

駅前 パーラーか 甘味屋でしょ それ 入りにくい...

あつ! 回転寿司にも あるみたいよ よし そこだな! マサル行くぞ

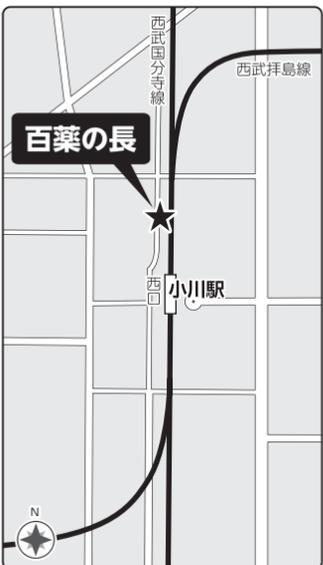
何にする? いちご? メロン? ウニと中トロ...



とうとうと赤く光る看板が目印

**百薬の長** 線 武 西 武 小 武 川 徒 歩 3 分

新・赤すようすん 私 行きたい



## 秘伝の継ぎ足しダレ 1日4本のタン下は絶品

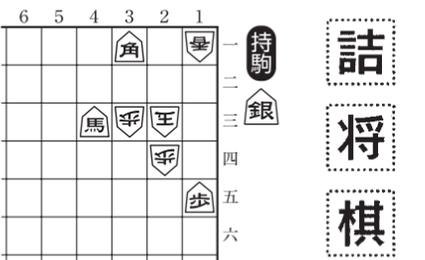
【小金井国分寺・塗装・高橋勇一通信員】西武国分寺線・拝島線の小川駅西口を降りて北に歩いていくと飲食店が何軒もあり、少し離れたところにボツンとあるもつ焼き

「百薬の長」。夕闇が迫る頃、とうとうと光る赤い看板に引きつけられます。私が初めて来店したのはもう15年ぐらゐ前のこと。きっかけは仕事の仲間が誘われて

行きました。店内に入るとこの字のカウンター席のみで、マスターが一人で走り廻って切り盛りしていました。メニューのメインはもつ焼きです。私のすすめは、塩ではカシラ・ハツ・タン下で、中でもタン下は絶品で1日4本しか数がありません。タレはマスターが何十年も使っている壺に継ぎ足しに継ぎ足し。継ぎ足し秘伝のタレ焼ヒモ・レバが最高。1本80円でボリュームがあつて美味しいときています。その他カツ酢・カツ醤油(豚

ビール大瓶	470円
お酒約1合	220円
焼酎約1合	220円
串物1本(全て)	80円
煮込	250円
カツ酢	190円
厚揚	140円

【営業時間】16時〜20時/日祝・水定休  
小平市小川西町4・34・3  
☎042・345・6778



### 詰将棋

**チヨット一服(1063)**  
バラライカの演奏を聞いた。バラライカとは、やさしい音色の三弦ギターのような楽器で、ホディーも三角。ロシアの民族楽器だという。その名前の響きからなんとなくロシア的なイメージがあったのだが、それが弦楽器で、そんな形をしていることも知らなかった。その日見たバラライカは模様のせいかギブソン社のギター、フラインクVのようにも見た。場所は都内のあるロシアンレストラン。演奏の前後には欧米のヒット曲が大きな音でかかっていた。ロシアの若者たちは今、自分の好きな音楽を自由に聞くことができるのだろうか。



構造設計 白須正広

## 忘れえぬこと

つながつて腑に落ちた 歴史に残る大事件

1995年3月20日、当時私は山梨県富士吉田市から東京都中野区までの遠距離通勤をしていた。富士吉田から大月駅まで車で行き、駐車場に止めて電車に乗り換え、中央線に揺られて中野駅で降り、徒歩15分で会社に着く。

この日、多くの人が遅れて出社して来た。異臭騒ぎで地下鉄が乱れているという事だった。「地下鉄サリン事件」である。多くの人が被害を受けた。歴史に残る大事件だった。翌々日の22日、夜も明けないまだ暗い早朝だった。家のすぐ真上を低空で何機ものヘリが飛んで行った。その轟音で飛び起きた。近くには北富士演習場があり、戦闘機やヘリの音には慣れていたが、この日は違っていた。尋常でない事はすぐに分かった。(渋谷)

何事か起きてテレビをつけてみると、オウム真理教の上九一色村(当時)の教団施設の強制捜査だった。地元では怪しい集団がいるという以前から噂があった場所だ。テレビには警官が列をなして歩く姿が映っていた。遡って思い出せば、代々木駅周辺で変な被り物をして踊る、不気味な連中を何度か見たことがある。彼らが選挙に大挙して立候補していることに背筋がぞつとした。全員落選でホツとしたものだが、それらが後にすべて繋がって腑に落ちた。余談だが、地元の鉄骨ファブが教団施設に材料を持って行ったときに、材料の荷下ろしだけで良いと言われて下ろしただけで帰ってきたらしい。徹底した秘密主義だが、建て方は自前でやって、出来上りは知っての通りの代物だった。(渋谷)

たタークファンタジー漫画『ベルセルク』。昨年、作者の三浦建太郎が急死したことから連載休止となった。三浦の親友で同じ漫画家でもある森恒二は生前、三浦からネームの相談を受け、世界的人気を博している。最終回までのストーリーやエピソードを聞いていた。そこで、三浦の弟子たちの協力も得て、亡き旧友の遺志を継ぐことを決意し、なんと『ベルセルク』の連載再開にこぎつけた。



## トップガン 監督 トニー・スコット

36年経ても色褪せない成長の物語

監督のトニー・スコットは、主演のトム・クルーズとともにこの作品で一躍有名に。脇を固めたヴァル・キルマー、メグ・ライアン、ティム・ロビンズなど若手俳優らの出世作ともなった。挿入歌「アンジェリー・ゾーン」(ケニー・ロギンス)や「愛は吐息のように」(ヘルリン)も話題を集めた。



「何回観た？」が挨拶がわりになるほど大ヒットとなった『トップガンマーズ』は、5月27日の公開から2カ月足らずで590万人超を動員。興行収入も92・6億円を突破して今年日本で公開された作品ナンバー1に輝いた。その前作にあたる『トップガン』が公開されたのは36年も前の1986年のこと。でも、今観ても少しも色褪せていないし、十分楽しめる。続編につながるエピソードも満載なので、予習、復習で観ておくと面白さ倍増だ。

舞台はカリフォルニア州ミシマー海軍航空基地にある、世界最強のパイロットを養成する「トップガン」を呼ばれる訓練所。パイロットのマーヴェリック(トム・クルーズ)は相棒のグース(アンソニー・エドワーズ)とともに、F-14トムキャットを操る世界最高のパイロットをめざしていた。そんななか現れた新任教官チャリー(ケリー・マクギリス)にマーヴェリックは恋をするが...